

鏡野万葉のみち青少年文芸選奨・香々美川文芸選奨

第33回鏡野万葉のみち青少年文芸選奨と第23回香々美川文芸選奨に寄せられた多くの作品の中から入賞者が決定しました。(敬称略)

第三十三回 鏡野万葉のみち青少年文芸選奨入賞作品

現代詩の部

〔小学生の部〕

《入選》 該当者無し

《佳作》

奥津小学校六年生 小原 慶幸

記録会

「第八組の選手を紹介します」

ドキドキ ドキドキ

心臓の音が大きくなった

いよいよぼくの番だ

ぼくの体の中に応援の声がひびきわたった

パーン

思いきりかべをけつた

何も聞こえない

グイグイ水をかいてゆく

かべをもう一度けつた

あと二十五メートルだ

何も聞こえない

プールの中に自分しかないみたいだ



あと少し、あとひとかき

グイグイ水をかいてゆく

手がとどいた

やっとゴールだ

今までで一番速いタイム

今年のがんばりがむくわれた

《宇佐見賞》

香々美小学校五年生 河井 知奈

夏の木

夏の木は見ている

子どもがきらきらめく魚を見つめながら追いかけるところを

魚はにげる

子どもは追いかける

毎年、夏の木は見ている

子どもが魚をつかまえると夏の木は心の中

で喜んでい

毎年見ているうちに、子どもはだんだん

少なくなり魚は減ってしまう

そしていつの間にかだれもいなくなる

夏の木は思い出している

〔中学生の部〕

応募者なし

短歌の部

〔小学生の部〕

《入選》

富小学校一年 きしもと ちあき

◎おみせにねたくさんならんだスイカが

ねぼくにたべとアピールしてる

《佳作》

鶴喜小学校五年 本山 水晴

◎クーラーのリモコン無くして大惨事早

く見つかれと二度目の七夕

《佳作》

鶴喜小学校六年 牧田 花梨

◎夏休みプール開放楽しいが平泳ぎが難

しすぎる

《宇佐見賞》

南小学校二年 竹原 綾

◎プランタートマトをうえたはずなのに

なぜかきのこもひょっこりはえた

〔中学生の部〕

《入選》

鏡野中学校二年 長石 知也

◎今はまだ画面の向こう甲子園未来の僕

はこの場所に立つ

《佳作》

鏡野中学校二年 太田 優輝

◎毎日の汗と涙を糧にして強くなりたい

今よりもだれよりも

鏡野中学校二年 村井 海仁

◎星空をながめて思う我が将来闇の中に

も一筋の光

《宇佐見賞》

鏡野中学校二年 山本 大翔

◎階段ですれ違った君と僕きつと心もす

れ違ってる

俳句の部

〔小学生の部〕

《入選》

上齋原小学校五年 山口 巧

◎水かけてご先祖様にごあいさつ

《佳作》

香々美小学校三年 田口 勘太

◎ブラジルは今冬ですぼくは夏

香々美小学校六年 福崎 朔弥

◎春すぎて七色櫨の色変わる

